

ジャーナリズムを考える市民連絡会とやま
結成6周年記念講演会

ヘイトと闘う報道と メディアの責任

2015年以來繰り返された川崎市で起きたヘイトデモ・ヘイトスピーチに、自ら立ち上がり声をあげ抗い続けてきた在日の人々に接する中で、差別をなくす当事者として差別をなくすために書くと自らに課し、記者活動を続けてきた石橋記者に、昨年夏の参院選からの排外主義が横行し始めた時代における新聞記者の責任について、お話をさせていただく予定です。



講師 石橋学さん / 神奈川新聞編集委員

1971年生まれ。神奈川県鎌倉市出身。1994年神奈川新聞社入社。報道部の記者、デスク、横浜ベイスターズ（現横浜 DeNA ベイスターズ）の番記者などを経て、2018年から川崎支局編集委員。ヘイトスピーチの問題を長年取材し、共著に「ヘイトデモをとめた街 川崎・桜本の人びと」「時代の正体 vol. 1～3」（現代思潮新社）、『帰れ』ではなく『ともに』川崎『祖国へ帰れは差別』裁判と私たち」（大月書店）など。長期連載「時代の正体取材班」として、平和・協同ジャーナリスト基金賞・奨励賞（2015年）、日本ジャーナリスト会議（JCJ）賞（2016年）、一連の反ヘイト報道に対して、新聞労連ジャーナリズム大賞・特別賞（2021年）。



日時 3月15日（日）13時半～15時半

会場 サンフォルテ 303/304

参加費 / 資料代含む 1000円 / 高校生以下無料

主催 ジャーナリズムを考える市民連絡会とやま
連絡先 090 - 8701 - 6816